

5年生防災（起震車体験）

5年生の総合的な学習「防災～ともに生きる～」で、起震車体験を行いました。31年前の1月17日に阪神・淡路大震災が起こり、その後も東日本大震災等、大きな地震が日本各地で起こっています。先日の1月5日には、島根県を震源とした地震も起こり、府中町でも震度4の揺れを観測し、突然の揺れに驚きました。

府中町危機管理課の協力により、子どもたちは震度6弱の揺れを体験しました。また、保護者や地域の方々にも来校いただき、震度7を体験しました。わずか10秒程度の震度7でも、座っている椅子が大きく揺れ、足を踏ん張れず、立っていることも不可能でした。この揺れが実際には前触れもなく突然にやって来て、長い時間続くとなると、日頃からの備えが大切であると改めて感じました。災害は地震だけではありません。大雨や台風、土砂災害など様々です。府中中央小学校の体育館は避難所となります。備えだけでなく、普段から近所や地域の人同士が顔見知りになり、繋がり、みんなの命を守ることができるよう願います。

結構揺れているよ。立って
いられないね。



揺れると分かっているから、心の準備もできる
けど、実際には突然揺れて、怖いね。



家の中で起こったとしたら、棚の中か
ら物は落ちるし、家具も倒れてきて、
ケガをするから危険！！



地震は前触れもなく突然
起こります。日頃からの
備えが大切です。

